市民アンケートの結果から

市民アンケートの結果をお知らせします

市では今年の三月に市民アンケートを行い、四百人を超える市民の皆さんからご協力をいただきました。その結果がまとまりましたので概要をお知らせします。

市民アンケート（平成10年度）

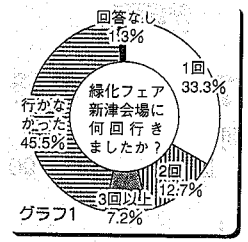
調査地域	市内全域
調査期間	3月1日～15日
対象者	18歳以上の市民1,000人（平成10年12月31日現在の住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法	郵送法
回収数	448件（回収率 44.8%）

半数以上が訪れた緑化フェア新津会場

「緑化フェアの新津会場に何回出かけましたか?」という質問に、回数にかかわらず「行った」と答えた人は五三・二%に達しました（グラフ1）。

緑化フェア関連では、四割の人が緑化フェア期間に合わせて朝顔やひまわりを植え、六割以上の人が「緑化フェアを機会に花と緑のある生活をしたい」と答えています。

緑化フェアを通して、市民の緑化意識の高まりが感じられる結果となりました。



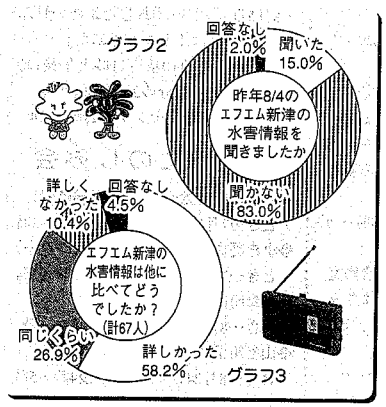
グラフ1

聴取状況は今ひとつ 役に立つ防災放送

「昨年夏の八・四水害のとき、エフエム新津で放送した水害情報を聞きましたか?」という質問に「聞いた」と答えた人はわずか一五・〇%で、「聞かない」と答えた人が八三・〇%もいました（グラフ2）。この日は落雷の影響で放送が中断するなど、聞こうと思っても聞こえない状態が何回かあって、それが「聞かない」と答えた人を増やす要因にもなったようです。

「聞いた」と答えた人に「水害情報はどうでしたか?」と尋ねたところ、六割近い人が「テレビなど他の情報に比べて詳しかった」と答えています（グラフ3）。

このほか、市では火災が起きたときに火災情報を放送していますが、これも「必ず聞く・聞く方が多い」という人は一割程度で、八割以上が「聞かない・聞かないことの方が多い」と答えています。聞かない理由については「火災情報を放送していることを知らなかった」と答えた人が半数以上を占めました。



グラフ2　グラフ3

ご意見も…

市提供番組にきびしぃ～

「今後、市提供番組と望むのような番組を望みますか?」という質問に「センスがない」「多局に比べてつまらない」など厳しいご意見もいただきました。

確かに、お伝えするべき内容が堅めの内容が多いですし、番組を制作する市職員もプロではありませんから、東京のキー局から配信される音楽番組を中心に放送している他局に比べれば面白くないかもしれません。

しかし、聞いていただかないことには情報も伝わりませんので、より親しまれる番組を放送するように努力していきたいと思います。

お買物、ご用命は市内で

夏の味覚の王者
新潟（巻）産、保証付
ファインエースすいか
地方発送承ります。
◎毎月1日はさつきちゃんスタンプ2倍セール
フルーツ&ギフト やまいし
本町2（新光商店街）
TEL 23-0397
FAX 23-3158

襖、壁、障子、天井、カーテン
ブラインド、カーペット、クッションフロアー
美術表装、額、掛軸
表具 つ心や
本町3☎ 22－2035

災害が起きたらエフエム新津を!!

地域に密着した情報を伝えるコミュニティFM局は、災害発生時にもその威力を発揮します。

しかし、今回はその良さが知られていないのと、放送中断などで良さを活かしきれなかったことがアンケートの結果からうかがえます。

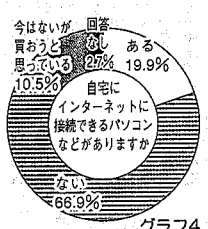
市では、防災放送協定を結んでいるエフエム新津に対し、放送中断に備えた予備放送設備を整備することにしています。今後、災害が発生したらFM七六・一メガ「エフエム新津」をお聞きください。

普及はこれから? インターネット

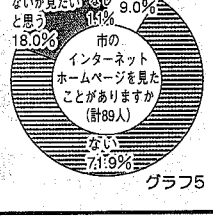
自宅にインターネットに接続できるパソコンなどがあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人は十九・九%でした（グラフ4）。年齢別でみると、二十歳未満の所有率が一番高く、年代が上がるにつれて低くなっています。

「ある」と答えた人と「今はないが買おうと思っている」と答えた人を足すと、二十歳未満と二十歳代では五〇%を超え、三十歳代でも四五%に達しました。インターネットの市内での普及はこれからのようです。

次に、市がインターネットで公開しているホームページを見たことがあるか尋ねたところ、「見た」という人は三・三%に過ぎませんでした。自宅にインターネットへ接続できるパソコンがあると答えた人の中でも九・〇%（グラフ5）でした。



グラフ4

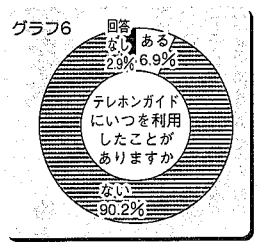


グラフ5

テレホンガイドなら24時間聞けます

「テレホンガイドにいつ（自動応答電話サービス）を利用したことがあるかどうか尋ねたところ「ある」と答えた人は六・九%にとどまりました（グラフ6）。

利用しない理由について尋ねたところ、「テレホンガイドそのものを知らなかったから」という答えが五六・三%を占めました。一方、テレホンガイドの使い勝手を尋ねたところ（複数回答）「分かりにくい」などの答えもあったものの、「二十四時間聞けて便利だ」が最も多い答えとなりました。



グラフ6

使い分ければますます便利

市では、この「広報にいつ」やホームページ、テレホンガイド、エフエム新津などを通して市民の皆さんにいろいろなお知らせをしています。

市ホームページは、単なるお知らせの寄せ集めではなく、地元・新津の文化をさまざまな角度から見つめ直す「地域学」の場として充実した内容となっています。また、インターネットの特徴を活かし、知りたいことを知りたいときに深く掘り下げて知ることができます。

市ホームページが「地域学」を軸に展開されているのに対し、テレホンガイドは生活に密着した情報を二十四時間、聞きたいときに聞くことができます。

エフエム新津では、日々の生活に役立つ情報や市からのお知らせを放送するとともに、災害発生時には番組を中断して災害情報をお伝えしています。災害が起きたら、まずエフエム新津をお聞きください。

今回のアンケート調査で「広報にいつ」以外の認知度や利用度が今ひとつという結果が出ましたが、それぞれの長所を生かして使い分ければ、もっと便利にご利用いただけるはずです。

最後になりましたが、アンケート調査にご協力いただいた皆さんに感謝します。ありがとうございました。

【担当：企画調整課広報秘書係（☎24―2111内線331）】

●新津市ホームページ……http://www.city.niitsu.niigata.jp/
●テレホンガイドにいつ…☎23―4000

お買物、ご用命は市内で
見やすいところに保存して下さい　便利です

住まいの不便・不安・不満を解消
ちよっと手を入れてより快適生活を!!
トイレ　浴室　キッチン
内装模様替え　機器交換　サービス
応援します
見積無料
快のお店 TOTO
快適住宅リフォーム工事専門店
増改築のさとう
新津市古田580-1 ☎24－4333